

秘

建設資材・労働力需要実態調査票【建築部門】

※調査対象工事が未着工の場合は、余白に「未着工」と朱書きの上、ご返送ください。

整理番号						
------	--	--	--	--	--	--

1. 調査趣旨

この調査は、建設事業の円滑な実施を図るため、主要な建設資材及び労働力の工事費、床面積の1単位当たりに必要な資材量・労働力を把握することにより、建設事業に必要な資材量及び労働力の短期・長期の需要見通しと、これに基づく資材及び労働力の需給の安定化対策を推進するための基礎資料を得ることを目的として実施するものです。

2. 調査実施

この調査は、国土交通省の委託によって株式会社ナビットが実施するものです。
この調査票に記入された内容は、上記の目的以外に使用することは決してありません。
なお、調査対象の抽出は工事単位で行うため、**1事業所に2通以上の調査票が送られることがあります。その際は、お手数ですが、それぞれの調査票に記入してください。**

3. 調査内容

- 本調査は、下記3つの内容からなっています。
- I. 工事内容調査 — 調査対象工事の請負契約金額、工期等
 - II. 主要資材量調査 — 調査対象工事に使用した資材量
 - III. 労働力調査 — 調査対象工事に従事した労働者の延べ人数

4. 調査票の提出期限・問い合わせ先・電子媒体のダウンロード・写しの保管

(1)調査票は、以下の方法のいずれかで**令和〇〇年〇〇月〇〇日**までにご投函ください。
 ①Webサイト(<https://mlit-receb.navit-research.jp/login>)から直接入力
 ②上記サイトより電子媒体(Ms-Excel)版を入手し、電子メールにて送付
 ③同封の調査票にご記入頂き、返信用封筒にてポストに投函(切手不要)
※可能な限り①もしくは②での回答をお願い致します。
 (2)調査についての問い合わせ先は、この調査票の8ページにありますので、ご参照ください。
 (3)後日、調査票の記入内容について問い合わせをさせていただく場合がありますので、**記入された調査票のデータを保管しておいてください。**

5. 調査票記入者名

貴事業所の名称をご確認のうえ、この調査票を記入された方の所属、氏名等をご記入ください。

※事業所名・事業所名・所在地は既に記載しておりますが、調査対象工事に該当する事業所名・事業所所在地と相違がありましたら修正をお願いいたします。
 訂正例)事業所名:〇〇建設(株) → ▲▲建設 ■■工事業所 (ここでの記載は1工事に対する事業所名を記載願います。)

事業所名					
事業所在地	〒 -				
所属部課名	部	課	氏名	電話	- -
メールアドレス					

I. 工事内容調査

(1)今回、調査対象とさせていただく工事件名及び発注者は次のとおりです。

工事件名		発注者	
------	--	-----	--

※上記の工事に関して左欄の記載内容に誤りがある場合は、右欄に正しい工事内容を記入してください。

工事内容		⇒		正しい工事内容					
施工場所		⇒	都道府県名						
契約年月	この工事の発注者との最初の契約年月を記入してください。	⇒	令和		年			月	
実際の工事着工年月	年 月	⇒	令和		年			月	
実際の完成または工事完成予定年月	年 月	⇒	令和		年			月	
延べ床面積	m ²	⇒	小数点以下四捨五入						m ²
主たる構造		⇒	右の1～6から該当するものを選び、番号を記入						1. W(木造) 2. SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造) 3. RC(鉄筋コンクリート造) 4. S(鉄骨造) 5. CB(コンクリートブロック造) 6. その他

(2)対象工事の工事費(消費税相当額含む)を下表に記入してください。

工事種類 ※1	請負形態 ※2	工事費(消費税込み) ※3						
		百億	十億	一億	千万	百万	十万	万円
①建築主体工事								
②電気設備工事								
③給排水・衛生・ガス設備工事								
④暖冷房・空調設備工事								
⑤昇降設備工事								
⑥その他の設備工事								
⑦屋外施設・外構工事								
⑧諸経費								
⑨工事費最終額(①～⑧の合計)								
⑩無償支給材評価額 ※4								

※1 ②～⑦において、別途発注がある場合は、お手数ですが当該工事を受注した業者に問い合わせのうえ、工事費(消費税込み)を記入してください。

※2 請負形態は、次の1～3から該当する番号を記入してください。
「1. 貴事業所の請負 2. 別途発注 3. 該当工事なし」

※3 工事費は、設計変更等による増減額を含んだ額を記入してください。

※4 無償支給材料評価額は、発注者側から無償で支給された資材について、支給当時の時価で換算した額を記入してください。換算は、製品カタログ、建設物価等を参照してください。



政府統計
 統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

Ⅱ－(2)主要資材量

資材分類の説明 <この表は、建築－5の説明です>

資材	形態	品 種	単 位	コ ー ド	内 容	用途の例	
木 材	素 材	材	m ³	21	各種丸太材。 (m ³ 換算は、9ページ換算表を参照)	小屋組、ログハウス等	
				22	正角材、平角材、正割材、平割材、板材等。積層材加工製品を含む		
	合 板	材	m ²	23	針葉樹、ラワン、しな等合板、床仕上材、壁仕上材等(寄木合板、化粧合板、プリント合板等)。転用されずに当初から全損となる捨て型わくを含む。		
				24			
	仮 設 材	損料対象材	合 板	m ²	25	型わく等のうち損料対象のもの。(リース売買方式を含む) ※設計数量を記入してください。	
					26	型わく、土止矢板等のうち損料対象のもの。(リース売買方式を含む)	
鉄 鋼 製 品	普 通 鋼 材	本 設 材	t	27	ロールH形鋼、広幅、中幅、細幅等各種圧延H形鋼。	構造用躯体(柱、梁等)	
				28	等辺山形鋼、不等辺山形鋼、デッキプレート、軽量形鋼等。(注3) (冷間成形による軽量形鋼を含む)	構造用躯体(柱、梁等)	
				29	鋼矢板、軽量鋼矢板等で埋設したもの。(引き抜き撤去分は、仮設材扱いとし、コード「37」欄へ記入)	基礎	
				30	異形棒鋼、丸鋼、平鋼等(木造などで未満の場合には小数第二位まで四捨五入して記入してください。)	基礎、構造用躯体	
					構造用鋼管(含むコラム)		一般構造用円形、角形鋼管等
	材 (注1)	仮 設 材 (注2)	H 形 鋼	t	34	厚中板(厚3mm以上の鋼板)、鋼管杭及び鋼管矢板、配管用鋼管(水道、ガス等の配管用の鋼管、ただし設備工事は除く)亜鉛鉄板(亜鉛めっき鋼板、カラー鉄板)、薄板等で、上記のいずれにも属さないもの。厚中板を溶接した、ビルトアップH形鋼、溶接四面ボックスを含む。(鉄線、針金、金網、ボルト、ナット等の線材二次製品、またはメタルラス等の鉄鋼加工製品を除く)	
					36	償却費、損料計上のもの(リースによるものを含む)で引き抜き撤去されたもの。 ・仮設材には仮事務所、仮宿舍、資材置場等の間接的なものは含めません。 ・新規購入、他の工事からの転用、リースの区別を問わず、調査対象工事に投入した数量を記入してください。 ・仮設材で転用したものと及び転用後に全損になったものは含みますが、捨て型わく、埋殺し等で転用されずに当初から全損となるものは本設材として各品目欄に記入してください。	土留、足場管、鋼製型わく等
					37		
					38		
					特 殊 鋼 材	材	t
瀝 青 材 (防 水 材)		m ²	41	ストレートアスファルト、ブローンアスファルト、コンパウンド等。ただし、アスファルト合材に使用されているものは除く。			
アスファルト合材(再生除く)		t	42	建物周囲の構内道路、前庭まわり(構内広場)、駐車場等に使用されるアスファルト・コンクリート等の新品物を記入する。再生物はコード「43」欄へ記入する。			
再 生 ア ス フ ァ ル ト 合 材		t	43	再生道路用アスファルトコンクリート等。新品物はコード「42」欄へ記入する。			

(注1) 普通鋼鋼材には、鋳鉄品、鋳鋼品は含めないでください。

(注2) 普通鋼鋼材の仮設材については以下の方法で記入してください。
鋼製型わくは、建込み数量(重量換算)
その他の鋼製仮設材は、仮設量
例: 足場材10tを5ヶ月間使用した場合は、10t×5ヶ月=50t(各月10t、総計50t)

(注3) 軽量形鋼のうち、天井下地:0.0025t/m²、壁下地:0.004t/m²換算して記入してください。

「記入例」
木材、鋼材の仮設材(損料対象材)については、新規購入、他工事よりの転用、リースの区別を問わず、調査対象工事に投入した数量を記入例にならって時期別に記入してください。
仮設材で転用したものと及び転用後に全損となったものは、仮設材欄(損料対象材)に記入してください。
ただし、捨て型わく、埋殺し材等で転用されずに当初から全損となるものは、消耗材として各

【型枠用合板の例】

使用場所	基礎	1階	2階	3階	4階	5階	6階
数 量	60 30 (捨て型わく)	100 建込完了	90	90	90	85	85
時 期 別 に 記 入 す る 数 量	実際に着工した最初の月 (60) 60m ²	2ヶ月目 (100+90) 190m ²	3ヶ月目 (90) 90m ²	4ヶ月目 (90+85) 175m ²	5ヶ月目 (85) 85m ²		

※転用されずに当初から全損となる捨て型わく等は、合板(厚6mm未満):コード「23」または合板(厚6mm以上):コード「24」に記入してください。

各月の使用量は建込み完了の時期に、その数量を記入し、盛替え(再使用)のときも同様に建込み数量を記入してください。
総計欄には延べ使用量(上記の例の場合、60+190+90+175+85=600m²)を記入してください。

なお、シートパイルは打込み時の時期別に計上してください。

※調査票の記入に関するお問い合わせ先一覧及び調査票提出先

※調査の趣旨、目的に関するお問い合わせ先

※WEB回答及び調査票ダウンロード先

WEBサイトから直接回答もしくは、電子媒体(MS-Excel)でのご記入をご希望される場合は、下記アドレスのサイトにアクセスしてご回答もしくはダウンロードいただくことができます。電子媒体(MS-Excel)でご回答される場合は、情報保護のためパスワードの設定をお願いいたします。設定方法はサイトをご参照ください。

※調査票の提出期限

返信用封筒もしくは電子メールにて令和〇年△△月〇〇日までに返信をお願いします。

電子版調査票提出先メールアドレス:

このページは返送不要です。